

「元気・笑顔・希望のまちづくり」 をめざして

刈谷市長

稲垣 武

Inagaki Takeshi

私は、昨年7月に市長に就任し、今年度は公約の推進に向け施策を本格的にスタートする年度となります。

令和2年度予算は、引き続き、市民生活の安心安全を確保する施策を推進するなかで、子育て世代への支援、高齢者や障害者への生活支援など、市民の皆さまが「元気」「笑顔」で、未来へ「希望」を持てるまちづくりの実現をめざした予算としております。

また、今年は、市制施行70周年の記念すべき年であり
ます。キャッチフレーズを「あなたとともに70^{ななじゅうねん}th つなげよう未来の刈谷へ」とし、本市の発展の礎を築いた先人たちの意思を受け継ぎ、新しい時代を切り拓いていくことが私たちの責務であると考えております。

さらに、これからのまちづくりの指針となる「第8次刈谷市総合計画」を策定中であります。全国的には少子高齢化や人口減少が進み、本市の基幹産業である自動車関連産業は100年に1度とも言われる大変革期にあるなど、先を見通すことが難しい時代ではありますが、めざすべき将来都市像の実現に向け、世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念や国が進める地方創生の視点を取り入れた計画としてまいりたいと考えております。

その一方で、新型コロナウイルス感染症につきましては、生活全般にわたる自粛傾向の長期化により、市民生活や企業活動に支障を及ぼしております。事態が刻々と変化するなかで、必要な対策を講じてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



目次

予算の規模	1
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1
一般会計の状況	2
守ろう！安心安全と健康	4
育てよう！子どもと未来	6
輝こう！暮らしと仕事	9

市制施行70周年記念事業	11
主な財政指標の推移	11
基金の状況	12
市債の状況	12
市民1人当たりの予算額（用途別）	13
刈谷市の家計簿	13

※掲載している事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止等に伴い、延期、中止等になる場合があります。

予算の規模

一般会計の令和2年度当初予算額は607億8,000万円で、前年度当初予算額と比較して4.6%の増となり、過去最大の予算規模となります。

土地区画整理事業、国民健康保険などの特別会計の合計は240億1,348万7千円で、前年度と比較して0.1%の増、水道事業及び下水道事業の企業会計の合計は96億5,128万9千円で、前年度と比較して2.7%の減です。

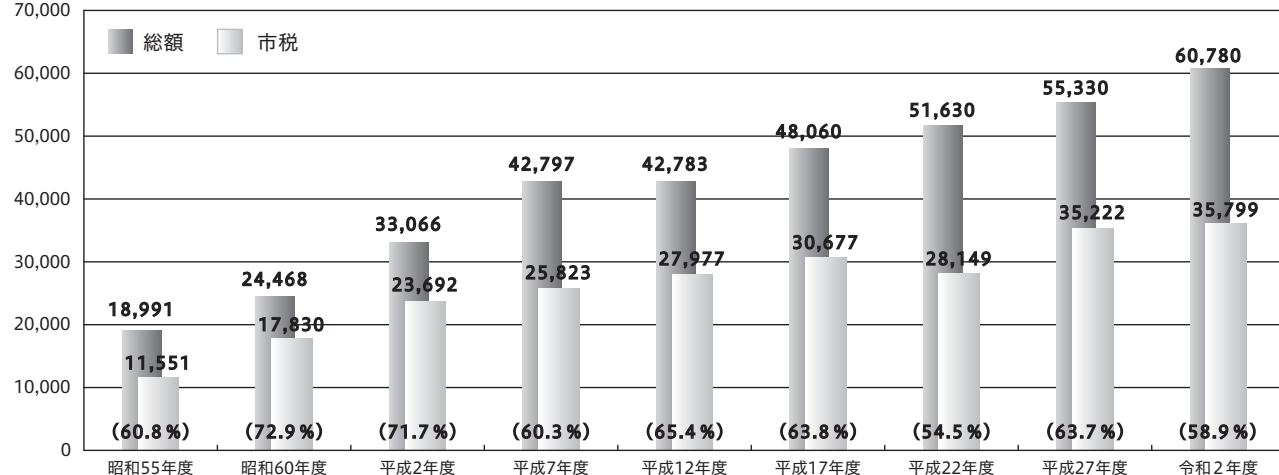
一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は944億4,477万6千円となり、前年度と比較して2.6%の増となります。

(単位：千円、%)

会 計 名	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	前 年 度 比	
			差 引	伸 率
一般会計	60,780,000	58,100,000	2,680,000	4.6
特別会計	24,013,487	23,995,116	18,371	0.1
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	1,296,198	1,249,745	46,453	3.7
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	139,173	120,342	18,831	15.6
国民健康保険会計	11,727,302	11,956,661	△ 229,359	△ 1.9
後期高齢者医療会計	1,935,292	1,904,910	30,382	1.6
介護保険会計	8,915,522	8,763,458	152,064	1.7
企業会計	9,651,289	9,918,561	△ 267,272	△ 2.7
水道事業会計	4,152,351	3,886,674	265,677	6.8
下水道事業会計	5,498,938	6,031,887	△ 532,949	△ 8.8
合 計	94,444,776	92,013,677	2,431,099	2.6

当初予算額・市税の推移（一般会計）

(百万円)



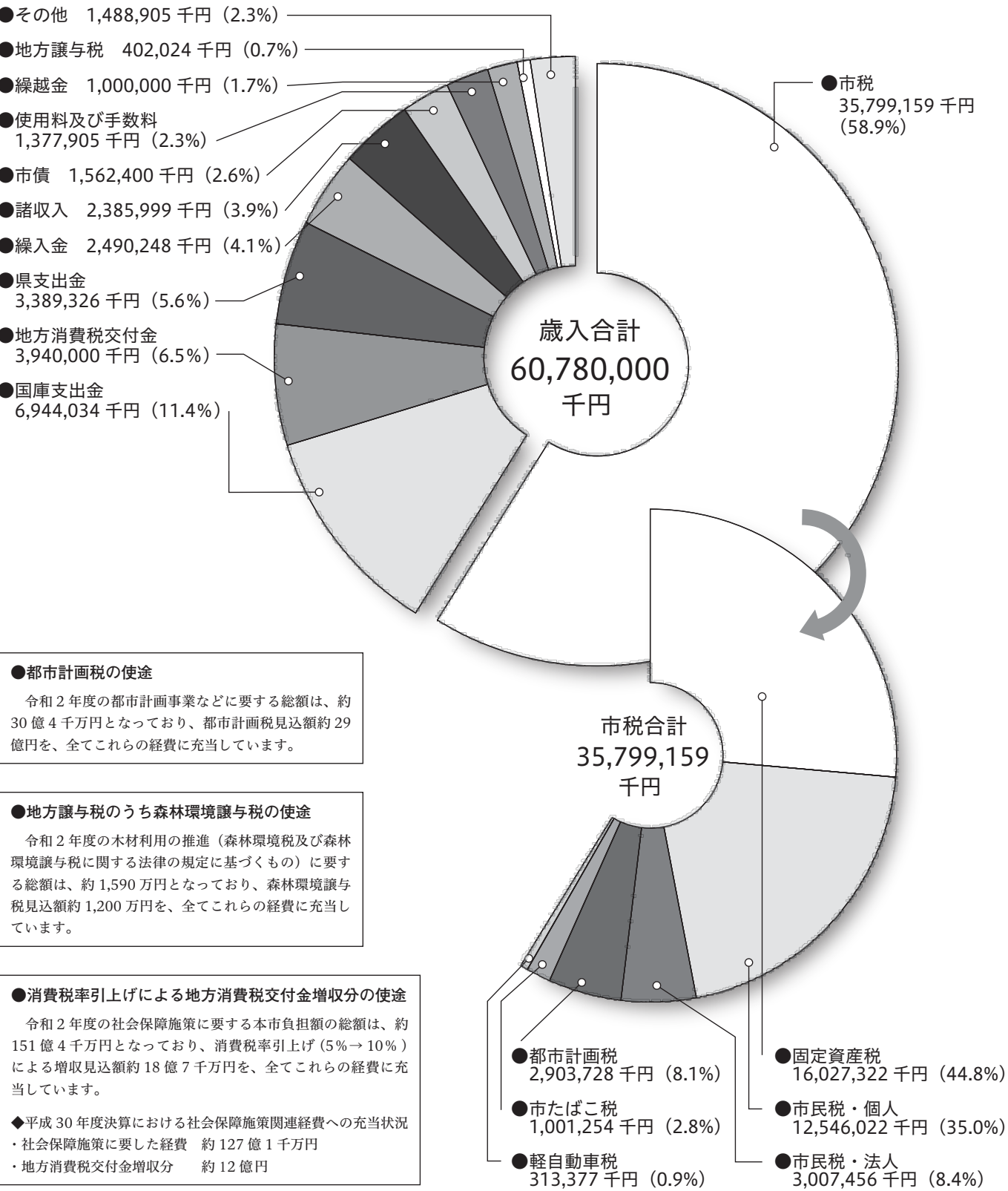
	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度
人 口 (4月1日現在)	104,615	110,643	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,419	152,823
世帯数 (4月1日現在)	34,601	36,949	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,409	67,179

※昭和55年度以降の5年毎の額を表記しています。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、357 億 9,915 万 9 千円で前年度当初予算額と比較して 1.1%の減を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、58.9%です。基金等からの繰入金 24 億 9,024 万 8 千円は、公共施設維持保全基金や都市交通施設整備基金、財政調整基金などを活用しています。市債 15 億 6,240 万円は、住吉幼稚園移転新築事業などの財源とします。

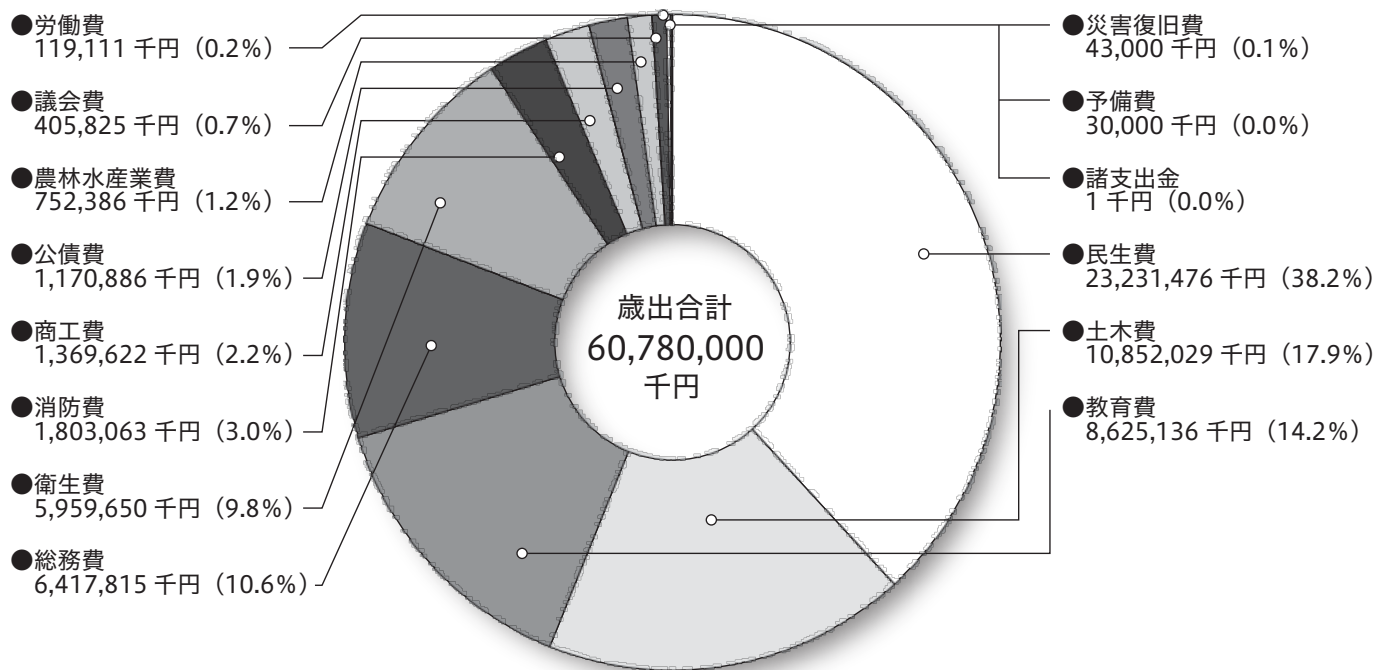


歳 出

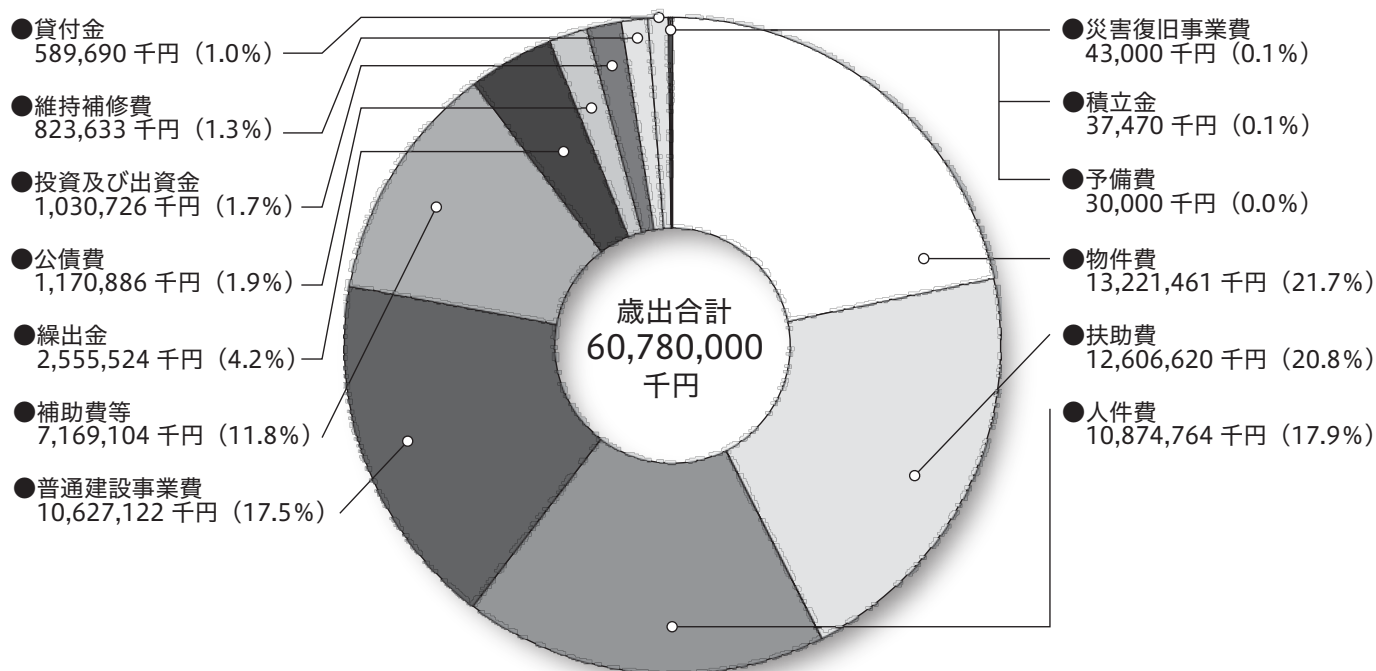
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、38.2%の民生費 232 億 3,147 万 6 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や私立保育所運営支援事業などです。次に、土木費 17.9%、108 億 5,202 万 9 千円です。そして教育費の 14.2%、86 億 2,513 万 6 千円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、17.6%です。

●目的別内訳



●性質別内訳



誰もが笑顔で不安のない生活を送ることができるよう、年齢や障害の有無にかかわらず、いきいきと生活できる環境を整備するとともに、あらゆる災害や犯罪、交通事故から命を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新 感震ブレーカー設置費補助事業

2,000 千円

大規模地震時の電気火災の抑制と被害の軽減を図るため、感震ブレーカーの設置費用の一部を補助します。

■対象機器 分電盤タイプ（内蔵型、後付型）

■補助率 2 分の 1

■限度額 2 万円

拡 避難所マンホールトイレ整備事業

9,000 千円

災害発生時のトイレ不足を解消するとともに、衛生的な環境を確保するため、避難所にマンホールトイレを整備します。

■設置設計

- (1) 平成小学校
- (2) 小垣江小学校
- (3) 小垣江東小学校
- (4) 東刈谷小学校
- (5) 刈谷東中学校



拡 防災情報発信事業

8,574 千円

災害発生時に市民がすばやく避難できるように、多言語（英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語）により、緊急情報などをメールで配信します。

拡 災害対策管理事業

8,398 千円

被災地域外からの支援物資が届くまでの災害発生後 3 日間まで確保するため、携帯トイレの備蓄数を拡充します。



拡 交通防犯対策推進事業

28,350 千円

犯罪発生を抑止し、まちの安全性を高め市民の不安の軽減を図るため、防犯上不安がある場所に防犯灯や街頭防犯カメラを設置します。

また、ドライバーが歩行者を認識しづらい横断歩道に道路安全灯などを設置します。

■防犯灯設置事業

事業費 6,393 千円

■街頭防犯カメラ設置事業

事業費 14,334 千円

■交通安全施設整備事業【拡充】

事業費 7,623 千円

拡 わが家の地震対策事業

12,000 千円

地震発生時の通行者の安全と避難経路の確保を図るため、ブロック塀などに対する建築基準法の適合性について点検を実施します。

■点検件数 約 5,000 件



橋りょう補強事業

29,000 千円

地震発生後の市民の安全な避難経路を確保するため、避難道路に架かる橋りょうの耐震補強工事を行います。

■橋りょう耐震補強詳細設計 川原大橋はじめ 4 橋

■橋りょう耐震補強工事 築地用水 5 号橋はじめ 2 橋

■事業箇所 一ツ木町ほか

水防倉庫整備事業

66,507 千円

水防力の向上を図るため、北部地区の基幹水防倉庫やため池用水防倉庫の整備を行うとともに、老朽化した水防倉庫の改築を行います。

■基幹水防倉庫整備地の造成工事 一ツ木町

■ため池用水防倉庫整備工事 東境町

■資器材整備

新 道路安全灯・園内灯LED化事業

3,402 千円

照明に係る維持管理経費及び環境負担の軽減を図るとともに夜間の安全性を確保するため、道路安全灯や公園などの園内灯をLED灯具に取り替えます。

■道路安全灯 2,883 基

■園内灯 941 基

新 すぎな作業所等整備事業

5,000 千円

障害者の就労支援及び生活支援の拡充を図るため、老朽化したすぎな作業所の建て替えに向けて、「ふれあいの里」の機能強化などについて検討します。

■すぎな作業所建替等基本構想設計



拡 特定保健指導事業

1,170 千円

生活習慣改善への意識付け及び糖尿病などの予防を図るため、特定健康診査でメタボリックシンドロームの改善が必要と判定された人に対して、新たに市内健診センターにおける特定健康診査の受診日に特定保健指導を行います。

■対象者 40 歳以上の国民健康保険加入者

拡 住宅改修費支給事業

43,510 千円

障害者や高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる環境づくりを推進するため、段差解消など必要な住環境の改善に要する費用を助成します。

■障害者

(1) 対象者

下肢、体幹、視覚、移動機能障害 1 ～ 3 級該当者

下肢 4 級該当者【拡充】

(2) 助成額 上限 36 万円

■高齢者

(1) 対象者

要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の人で、住宅の改修が必要と認められる人

(2) 助成額 上限 9 万円

新 AED 貸出事業

198 千円

イベントに参加する市民の安心と安全の確保を図るため、参加者が心肺停止状態に陥った際に早期に救命措置を行えるよう、イベントの主催者に対して AED を無料で貸し出します。

■貸出対象 おおむね 10 人以上が参加する市内で開催されるイベント

■貸出台数 2 台

■貸出場所 保健センター



拡 障害者就労支援事業

3,000 千円

障害者就労を支援するため、障害者を 6 か月以上継続して雇用する労働者として雇い入れた事業者に対して補助金を交付します。

■対象者

市から就労移行支援又は就労継続支援の支給決定を受け、当該支援事業所を雇用開始日の前 6 か月内に利用していた障害者を雇用したもの

■対象期間 雇用開始から 12 か月の間

■補助額 6 か月当たり 50,000 円

(短時間労働の場合、25,000 円)

拡 福祉タクシー助成事業

41,979 千円

障害者の生きがいづくりや社会参加のための外出を支援し、心身障害者福祉の増進を図るため、タクシー料金の一部を助成します。

■対象者

自動車税及び軽自動車税種別割の減免を受けている人を除き、次のいずれかに該当する者

(1) 身体障害者手帳所持者

ア 1 ～ 3 級該当者

イ 下肢 4 級該当者【拡充】

(2) 療育手帳 A ・ B 判定所持者

(3) 精神障害者保健福祉手帳 1 ・ 2 級所持者

■交付枚数

(1) 身体障害者手帳所持者のうち下肢 4 級該当者【拡充】
年間最大 12 枚 (1 か月当たり 1 枚)

(2) 上記 (1) 以外の人

年間最大 36 枚 (1 か月当たり 3 枚)

先人たちが育んできた歴史や文化を継承するとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長を育み、未来に夢と希望を持てるまちづくりを進めます。

拡 子ども医療費助成事業

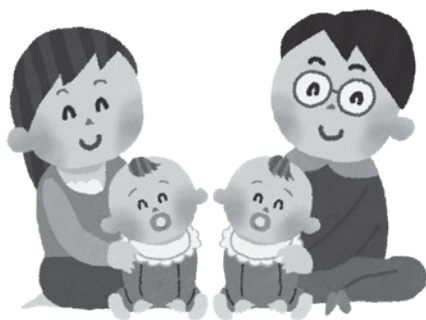
10,246 千円

医療費負担の軽減及び子どもの福祉増進を図るため、入院に係る子ども医療費の支給対象者を高校生など（18歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある者）までに拡大します。

新 多胎家庭支援事業

1,080 千円

多胎家庭における経済的負担の軽減を図るため、1歳を迎えた多胎児を養育している家庭に対して、おむつなどの養育に必要な費用を支援します。



拡 産後ケア事業

1,847 千円

産後うつや虐待予防などを図るため、産後の体調や育児に不安がある出産後4か月未満の産婦と乳児を対象に、刈谷市産後ケア事業指定医療機関を宿泊又は日帰りで利用し、心身のケアやサポートを受けられるよう支援します。

私立保育所整備支援事業

297,226 千円

待機児童の解消を図るため、民間事業者が行う認可保育園の建設などに要する費用を補助します。

■（仮称）ALL4KIDS ナーサリースクール刈谷

- (1) 補助額 214,001 千円
- (2) 定員 90 人
- (3) 事業箇所 今岡町

■こぐま保育園

- (1) 補助額 83,225 千円
- (2) 定員 130 人
- (3) 事業箇所 富士見町

拡 子育て短期支援事業

458 千円

子育て短期支援事業（ショートステイ）の利便性の向上を図るため、従来の児童福祉施設に加え、市内在住の養育者への委託を行います。

新 誕生祝い事業

4,500 千円

刈谷のまちへの愛着を育むため、新たに刈谷市民として生まれた子を対象に、お祝いのメッセージを添え、記念品を贈ります。

拡 母子健康診査等事業

550 千円

予防接種のスケジュール管理など育児の支援を図るため、スマートフォン用アプリにより母子健康手帳の記録を電子化します。

慈友保育園大規模改造事業

323,195 千円

施設の保全及び良好な保育環境の維持を図るため、老朽化した園舎の大規模な改修を行います。

■内装及び設備の改修工事ほか

幼稚園（幼保連携型認定こども園）事業

1,648,684 千円

長時間の保育を必要とするニーズに対応し、待機児童の解消を図るため、全ての公立幼稚園において、保育園を利用していた長時間保育を必要とする3歳から5歳児の受入れを実施します。



住吉幼稚園移転新築事業

809,899 千円

良好な保育環境の維持を図るため、老朽化した住吉幼稚園（幼稚園事業により幼稚園から幼児園に移行）の園舎を重原幼稚園と合併して、土壌対策工事が完了した旧第一学校給食センターの跡地に移転新築します。

■住吉幼児園建設工事

- (1) 総事業費 1,534,503 千円
 - （平成 29 年度 74,911 千円）
 - （平成 30 年度 97,454 千円）
 - （令和 元 年度 552,239 千円）
 - （令和 2 年度 809,899 千円）
- (2) 延床面積 約 2,700㎡



住吉幼児園新園舎（イメージ）

拡 いじめ及び不登校児童生徒指導事業

48,696 千円

いじめや不登校の未然防止を図るため、すこやか教室における相談や指導の実施などに加え、中学校内に安心して過ごすことができる居場所を新たに設け、悩みを気軽に打ち明け、相談できる「スクール・ほっと・アシスタント」を 6 中学校全てに 1 人ずつ配置します。

新 子ども・若者支援事業

810 千円

子ども・若者の健全な育成を図るため、困難を抱えるおおむね 40 歳までの子ども・若者及びその家族に対して、専門の相談員による総合相談窓口を子ども相談センターに開設します。

- 場所 子ども相談センター相談室
- 開催日 9 月から週 1 日
- 相談員 社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士等

新 住吉小学校校舎増築事業

211,400 千円

児童数増加に伴う教室不足に対応するなど教育環境の改善を図るため、中舎の南側に校舎の増築を行います。

■増築棟建設工事

- (1) 総事業費 569,970 千円
 - （令和 2 年度 211,400 千円）
 - （令和 3 年度 358,570 千円）
- (2) 延床面積 1,299㎡

小中学校空調設備整備事業

420,816 千円

児童生徒の安全と教育環境の向上を図るため、全小中学校の特別教室などに空調設備を設置します。

■小学校

- (1) 事業費 262,130 千円
- (2) 設置教室 家庭科室、図工室、配膳室

■中学校

- (1) 事業費 158,686 千円
- (2) 設置教室 被服室、調理室、金工室、木工室、配膳室



拡 ICT 教育事業

80,004 千円

児童生徒の学習意欲や学力・情報活用能力の育成を図るため、全小中学校にタブレット端末を 41 台ずつ導入します。



歴史博物館企画展開催事業

34,898 千円

歴史や文化財に触れる機会を提供するため、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示する企画展を開催します。

■歴史へのいざない展

- (1) 事業費 6,926 千円
- (2) 会期 5月12日～6月7日

■戦時下の刈谷展

- (1) 事業費 6,300 千円
- (2) 会期 7月18日～8月30日

■徳川家康の遺産展

- (1) 事業費 21,672 千円
- (2) 会期 10月3日～11月15日



【重要文化財】
白地葵紋紫腰替り辻ヶ花染小袖
徳川家康着用
(徳川美術館蔵)



熊毛植黒糸威具足
徳川家康着用
(徳川美術館蔵)

第8次刈谷市総合計画策定事業

8,341 千円

市の現状や特性を踏まえ、社会経済情勢や市民ニーズの変化などを反映し、新たなまちづくりの指針となる第8次刈谷市総合計画を策定します。

■策定期間 平成30年度から3年間

市役所第2駐車場整備事業

775,000 千円

駐車場不足の解消を図るため、市役所と市民交流センターの共用駐車場である市役所第2駐車場を立体駐車場として整備します。

■駐車台数 309 台

美術館企画展開催事業

72,371 千円

質の高い美術品や展示物に触れる機会を提供し、文化の振興を図るため、著名な美術家や絵本作家の展覧会などを開催します。

■ヒグチユウコ展

- (1) 事業費 28,432 千円
- (2) 会期 5月12日～6月7日

■村上康成展

- (1) 事業費 17,633 千円
- (2) 会期 7月23日～9月6日

■野口哲哉展

- (1) 事業費 26,306 千円
- (2) 会期 9月19日～11月15日



絵本「くじらのバス」平成20年 村上康成

夢と学びの科学体験館
特別企画展開催事業

22,500 千円

子どもたちを中心に広く科学の楽しさに触れる機会を創出し、次代を担う人材を育成するため、春、夏、冬の学校などの長期休業期間を中心に、科学などに関連した体験展示や魅力的なプラネタリウム番組の投映などをを行います。

新 ICT活用推進事業

6,903 千円

迅速で的確な行政サービスの提供と業務の効率化を推進するため、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）など新しい情報技術を導入します。

■RPA

パソコン上で行う業務を自動化するソフト

■AI-OCR

手書き文字を高精度で認識し、データ化するシステム

■AI総合案内サービス

ホームページにおけるAIチャットボットによる対話形式の案内サービス

誰もが笑顔で暮らし、働き続けることができるよう、自然と調和した快適な都市空間の形成とバランスの取れた産業振興を図り、魅力と活力にあふれるまちづくりを進めます。

市道01-4号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

468,121 千円

歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行います。

- 総事業費 539,121 千円
(令和2年度 468,121 千円)
(令和3年度 71,000 千円)
- 道路新設改良工事(県道岡崎豊明線以北)
延長 420 m、幅員 15 m
- 交差点改良工事(今川町交差点)
延長 90 m、幅員 19 m
- 事業箇所 西境町ほか

市道01-41号線他道路新設改良事業 (スマートインターチェンジ)

1,157,442 千円

産業の生産性向上、交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化、観光振興や防災機能の強化を図るため、スマートインターチェンジの整備に合わせた道路整備を行います。

- 総事業費 1,723,442 千円
(令和元年度 55,000 千円)
(令和2年度 1,157,442 千円)
(令和3年度 511,000 千円)
- 道路新設改良工事 7箇所
延長 1,600 m、幅員 7.5 ~ 17.8 m
- 橋りょう工事 1橋
延長 59 m、幅員 12.4 m
- 事業箇所 東境町



JR刈谷駅総合改善事業

218,072 千円

JR刈谷駅の通勤・通学時などにおけるホームなどの混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図るため、駅の改良を行います。



JR刈谷駅 (イメージ)

市道01-40号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

458,120 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- 総事業費 526,120 千円
(令和2年度 458,120 千円)
(令和3年度 68,000 千円)
- 橋りょう工事(下部工) 4基
- 工事前仮設道路整備工事
- 逢妻川護岸工事
- 事業箇所 中手町ほか

刈谷駅北地区整備事業

437,200 千円

多彩な駅前機能の充実を図り、活気と賑わいの創出、まちなか居住を促進するため、市有地を活用し、商業施設や住宅などが複合した施設を整備する民間事業者に対して補助します。

- 地区面積 約 0.3ha
- 延床面積 約 14,300㎡(20階建て)
- 主な用途 商業施設、業務施設、公共施設、住宅、駐車場
- 事業箇所 桜町



外観 (イメージ)

刈谷市駅前市街地再開発事業

9,513 千円

まちなか居住の積極的な促進と機能的で利便性の高い拠点形成のため、市街地再開発などによる都市基盤を再生・整備することにより、景観にも配慮した快適な都市空間を創出します。

- 都市計画決定素案の作成
- 地区面積 約 3ha
- 事業箇所 広小路ほか

岩ヶ池公園整備事業

369,663 千円

利用者の安全性の向上と主要地方道名古屋岡崎線の交通渋滞の緩和を図るため、駐車場と公園をつなぐ横断歩道橋を整備します。

- 総事業費 707,613 千円
(令和 2 年度 369,663 千円)
(令和 3 年度 337,950 千円)
- 横断歩道橋整備工事
延長約 51 m、幅員 3.5 m
- 事業箇所 東境町

中小企業者等支援推進事業

31,200 千円

市内の中小企業者などの活性化を促すため、直面している人材確保、市場開拓、販路拡大などの経営課題に対して支援します。

- 人材確保事業
事業費 6,500 千円
- 見本市等出展支援事業
事業費 2,000 千円
- 小規模企業者設備投資促進補助事業
事業費 20,000 千円
- 創業者支援事業
事業費 2,700 千円

拡 有害ごみ処理事業

2,896 千円

使用済みスプレー缶の穴開け作業による事故を防止するため、穴を開けずに安全に収集処理します。

- 回収場所
市役所、各市民センター、各市民館、一ツ木福祉センター、生きがいセンター

市営住宅長寿命化整備事業

140,140 千円

老朽化した市営下重原住宅を一部建て替え、戸数を拡大するとともに、耐震補強などの改修を行います。

- 総事業費 612,776 千円
(令和 2 年度 140,140 千円)
(令和 3 年度 472,636 千円)
- 既設 B 棟の増築工事及び耐震補強等改修工事

拡 空家等対策推進事業

2,090 千円

空家等対策計画に基づき、良好な生活環境の保全及び安心で安全なまちづくりの推進を図るため、老朽空き家の除却に要する費用の一部を補助します。

- 補助額 1 件当たり 20 万円 (上限)



拡 有害鳥獣駆除事業

1,183 千円

農作物の食害を防止するため、従来の銃による駆除に加え、捕獲檻によるカラスの捕獲、駆除を行います。



清掃センター移転新築事業

151,270 千円

環境センターとの効率的な管理運営を図るため、老朽化した清掃センターを移転新築します。

- 総事業費 233,140 千円
(令和 2 年度 151,270 千円)
(令和 3 年度 81,870 千円)
- 延床面積
(1) 事務所 400㎡
(2) 収集車用車庫 235㎡
- 事業箇所 逢妻町



市制施行70周年記念事業

「あなたとともに70th つなげよう未来の刈谷へ」をキャッチフレーズとし、様々な記念事業を実施します。

のど自慢開催事業

「歌で思いを届ける！」をテーマに、NHKのど自慢を開催します。

- 開催日 6月28日
- 場所 総合文化センター

日本女性会議開催事業

21,518 千円

男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議である「日本女性会議 2020 あいち刈谷」を開催します。

- 開催日 11月13日～15日
- 場所 総合文化センターほか



日本女性会議 2020 あいち刈谷プレ大会

NHK交響楽団刈谷公演開催事業

8,547 千円

市民の芸術文化意識の向上を図るため、日本を代表するオーケストラ楽団であるNHK交響楽団によるコンサートを開催します。

- 開催日 9月26日
- 場所 総合文化センター

プロ野球オープン戦開催事業

6,337 千円

市民のスポーツへの関心を高めるため、中日ドラゴンズ主催のオープン戦を開催します。

- 開催日 3月
- 場所 刈谷球場

第九交響曲演奏会開催補助事業

2,500 千円

市民による創作活動の機会を創出するため、公募による合唱団と市民を中心としたオーケストラによる第九交響曲の演奏会の開催を支援します。

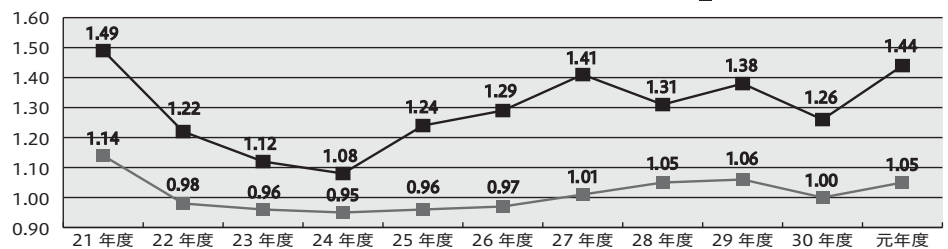
- 開催日 3月14日
- 場所 総合文化センター

主な財政指標の推移

(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。

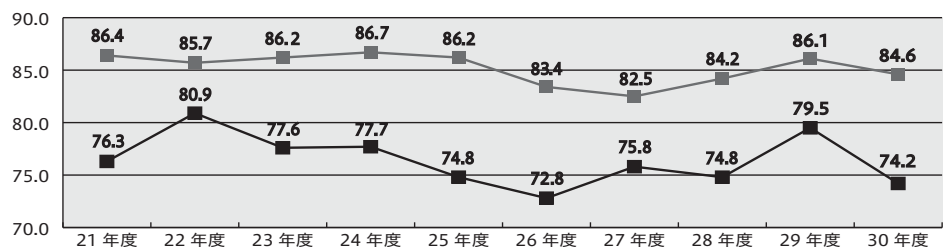
財政力指数（単年度）



(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。

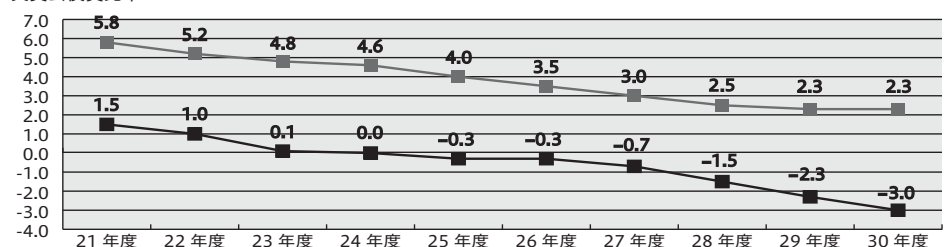
経常収支比率



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3カ年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。

実質公債費比率

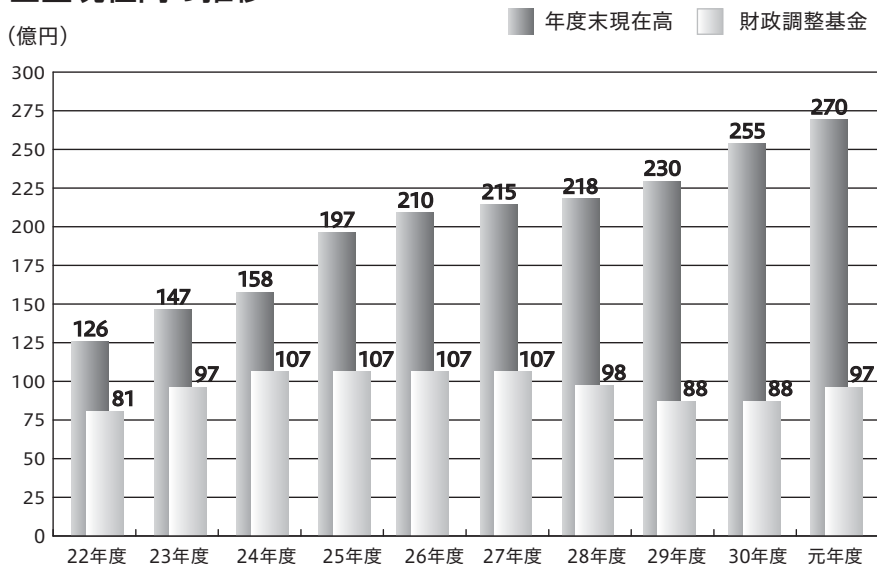


基金の状況

基金の現在高は、令和元年度末現在で、約 269 億 5,400 万円です。その内訳は、財政調整基金（約 96 億 9,500 万円）、都市交通施設整備基金（約 70 億 4,500 万円）、公共施設維持保全基金（約 63 億 4,600 万円）、亀城公園等整備基金（約 16 億 6,000 万円）が主なものです。

（単位：百万円）

基金現在高の推移

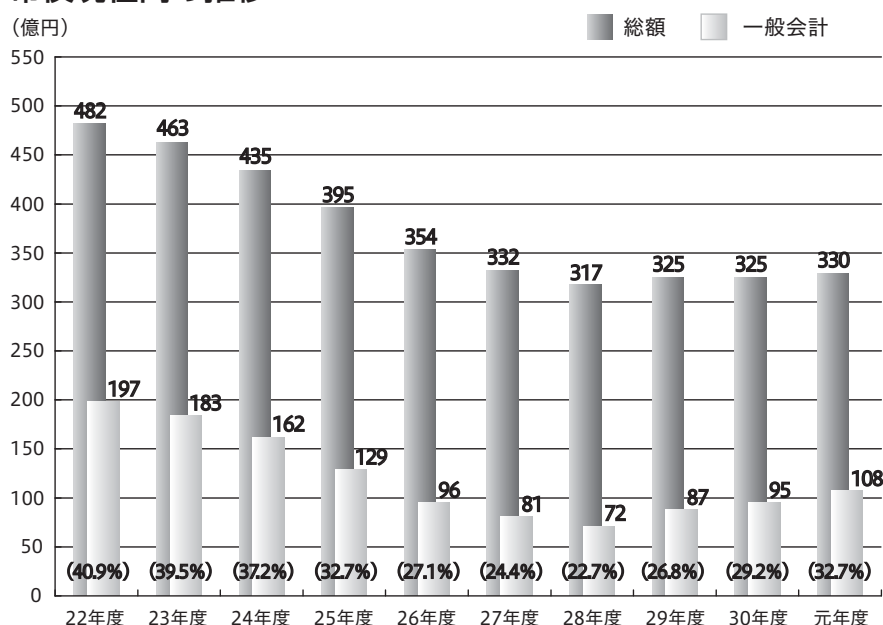


基金名	現在高
財政調整基金	9,695
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	594
地域福祉基金	272
国民健康保険基金	270
介護保険基金	503
緑化推進基金	318
市民活動支援基金	15
亀城公園等整備基金	1,660
公共施設維持保全基金	6,346
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	7,045
合 計	26,954

市債の状況

市債の現在高は、令和元年度末現在（見込み）で、約 330 億 1,600 万円です。そのうち、一般会計は、約 107 億 8,200 万円で 32.7%を占めています。企業会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

市債現在高の推移



（単位：百万円）

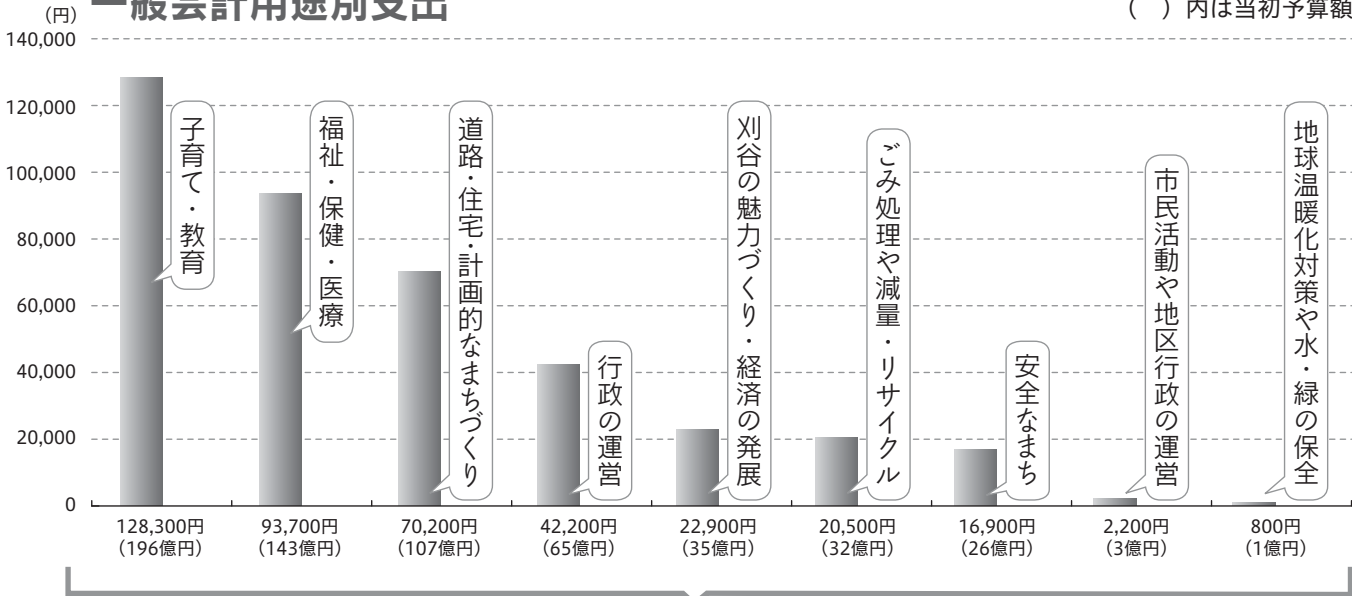
会計名	現在高
一般会計	10,782
特別会計	101
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	101
企業会計	22,133
水道事業会計	2,507
下水道事業会計	19,626
合 計	33,016

市民 1 人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の令和 2 年度予算総額 607 億 8,000 万円を、市民 1 人当たり（令和 2 年 4 月 1 日現在の人口 152,823 人）に換算すると 397,700 円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で 128,300 円、次に福祉・保健・医療分野に 93,700 円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に 70,200 円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。

一般会計用途別支出

（ ）内は当初予算額



市民 1 人当たりに使われる予算額 **397,700 円** 一般会計予算額 **607 億 8,000 万円**

刈谷市の家計簿

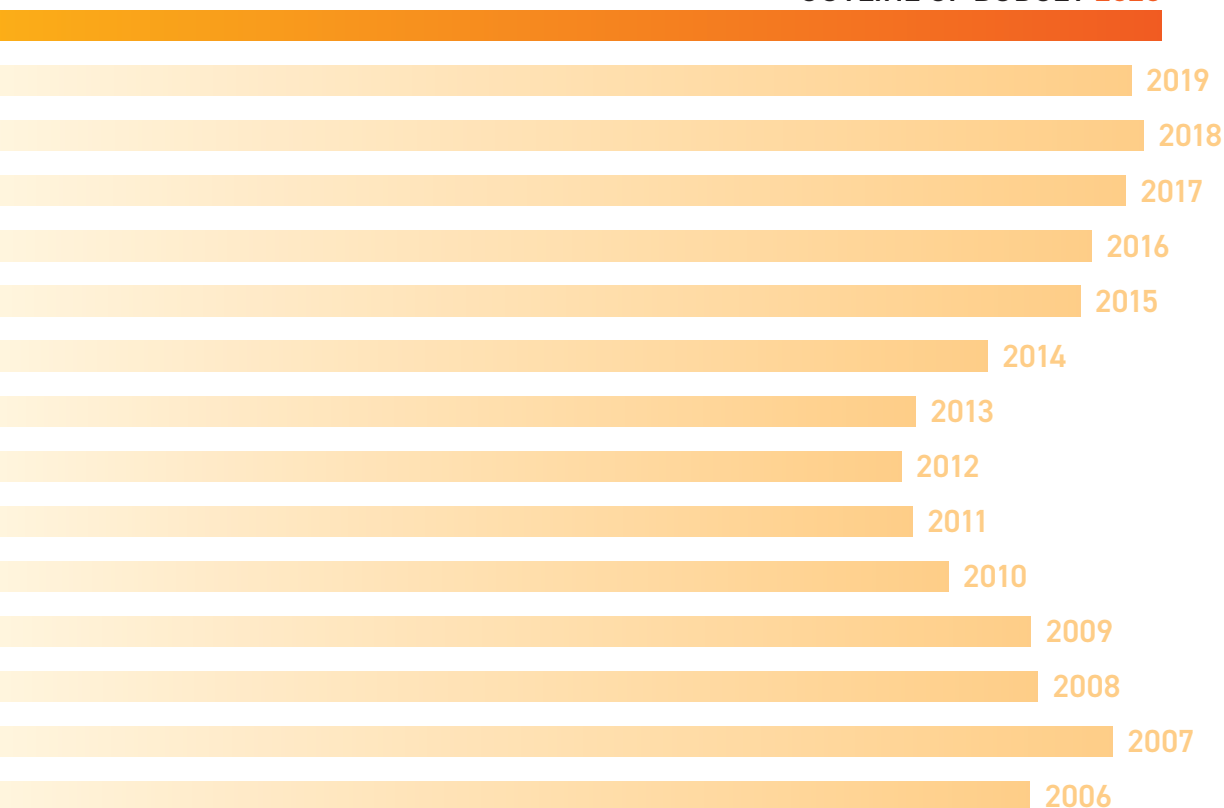
刈谷市の令和 2 年度一般会計当初予算を、年収 550 万円（月収 45 万 8,000 円）のご家庭に例えて、1 ヶ月の家計簿を作成しました。

刈谷市の 1 ヶ月の家計簿

収 入		支 出	
給 与	311,000 円	食費（人件費）	82,000 円
基本給（市税）	270,000 円	医療費、保育料など（扶助費）	105,000 円
諸手当（地方譲与税、県税交付金など）	41,000 円	家のローン返済（公債費）	8,800 円
家の修繕代の助成金、奨学金など（国県支出金）	78,000 円	家財道具の買替え、家の修繕費など（施設等整備費、維持補修費）	105,200 円
パート収入、家財の売却による収入など（使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入）	57,000 円	光熱水費、日用品、教育費など（行政運営費）	130,000 円
家の修繕や車の買替えのための銀行からの借金（市債）	12,000 円	1 人暮らしの家族への仕送り（繰出金）	27,000 円
合 計	458,000 円	合 計	458,000 円

家族の医療費（高齢者・児童福祉などの扶助費）、ローンの返済（公債費）、食費（人件費）の 3 つは、「義務的経費」と呼ばれています。この「義務的経費」が多いことは、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約 4 割であり、県内市町村の平均割合約 5 割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

OUTLINE OF BUDGET 2020



表紙今昔写真

上段左：北部 洲原池
上段中：北部 岩ヶ池
上段右：中部 刈谷駅北口
下段左：中部 刈谷駅周辺
下段中：南部 東刈谷駅周辺
下段右：南部 依佐美の鉄塔

リサイクル適性 (A)

○この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
○この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。